

を進めなければなりません。

このような状況下においては、農林水産業、商工業、観光業がそれぞれの分野だけで、独自に現状を改善することは非常に困難です。

本市の産業を活性化させるためには、古くから伝承される文化や資源などを活かし、市民の一体感の醸成を図ることが重要であり、産業分野を越えた横断的な取組みや異業種との円滑な連携が必要です。

山武市の取り組み

農林水産業は、食料生産だけでなくとどまらず、環境・景観の保全や防災、地域振興、教育など多面的な機能を有しているので、意欲ある担い手の育成や生産基盤の強化、森林整備等、自然環境との共生を図った事業を展開します。

商業は、競争力ある質の高い商業・サービス業店舗の立地を推進し、地域住民が利用しやすく、若者にも魅力ある商店街づくりを支援します。

工業では、新企業の立地促進を図り、新たな雇用を創出します。

観光業においては、夏期中心の観光から、通年型の観光地づくりを目指します。特に観光業は農林水産業、商工業への相互乗り入れが多分に期待できる分野であることから、観光客誘致による農林水産業及び商工業との相乗効果を生み出します。



道の駅「オライはすぬま」



はすぬま味工房

ともに手を携えて 誇りを持てるまちづくり

誰もがしあわせを実感できる独立都市さんむ

【産業経済の振興】

にぎわい豊かな 暮らしを創出するまちづくり

まちに賑わいや活性化をもたらすには、産業の振興が欠かせません。山武の風土や環境を地域の財産としてとらえ、生産や交流を活発にし、地域経済を活性化させるまちづくりを推進していきます。具体的には、農業生産基盤の整備、通年型の観光地づくり、魅力ある商店街づくり、新企業の立地促進などを図っていきます。

